

ちょうご 見守りネットワーク

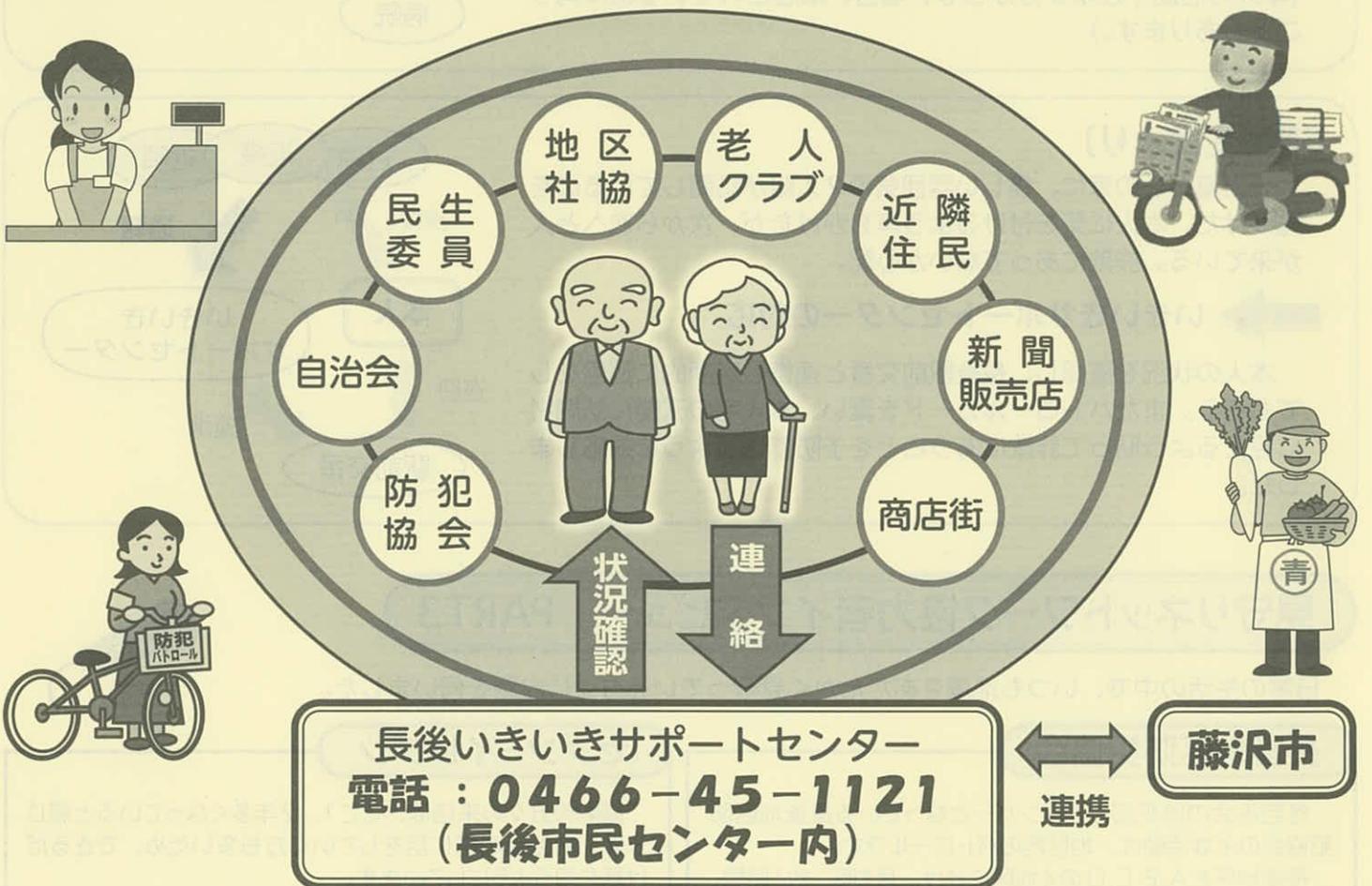
通

信

●2016年10月1日発行 ●長後いきいきサポートセンター(地域包括支援センター) ●電話：0466-45-1121

ひろがっています！見守りネットワークの輪

ちょうご見守りネットワークとは、地域の皆さんが、日常生活や仕事において高齢者の方のちょっと気がかりなことに気づいたときに、いきいきサポートセンターに連絡していただくことで、高齢者をゆるやかに見守っていくものです。



H28年4月から9月までの通報・相談件数は33件

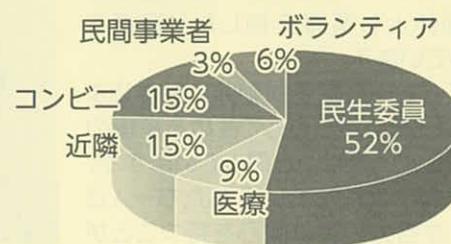
H28年4月から9月までに、高齢者の見守りや安否確認について長後いきいきサポートセンターに寄せられた相談は33件でした。

通報・相談者の内訳は右グラフの通りで、6月に民生委員が個別訪問をする時期だったこともあり、多くが民生委員から寄せられています。

相談内容としては、

- 体調が悪そうなので相談にのってほしい
- 家事ができなくなっている
- 一人暮らしで今後が心配
- 繰り返し話が多くて心配等となっています

〈通報・相談元〉



地域から通報があった 事例を紹介します

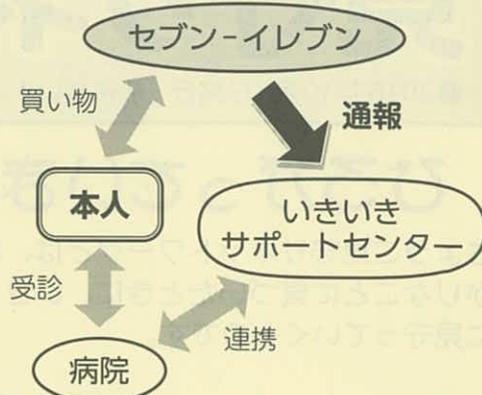


〔セブン-イレブンより〕

よく買い物に来る方が歩けなくなってきて、店内で座り込んでしまった。最近体調が悪そうで、自宅でどうしているか心配。

➡ いきいきサポートセンターの対応

本人の様子などから、いきいきサポートセンターで対応している方だと分かり、直ぐに連絡を入れ、訪問する。持病が悪化して動けなくなっていた為、病院に受診ができるよう対応しました。(本人の名前や住所が分からない場合、来店されている時に伺うこともあります。)



〔近隣住民より〕

一人暮らしの家に、怪しい雰囲気の人組が訪問しているのを見かけた。本人に気を付けるよう声をかけたが、次から次へと人が来ている。詐欺にあってないか心配。

➡ いきいきサポートセンターの対応

本人の状況を確認し、長後駅前交番と連携し定期的に巡回してもらおう。またパトロールカードを貰い、本人宅の玄関に訪問者に見えるよう貼って詐欺にあうことを予防できるように対応しました。



見守りネットワーク協力者インタビュー PART3

日常生活の中で、いつも地域をあたたく見守っている方々にお話を伺いました。



長後地区防犯協会

各自治会の防犯部長がメンバーとなっている長後地区防犯協会の主な活動は、地区内のパトロールです。

長後地区をA、B、C、Dの4地区に分け、月1回、約1時間、20名のメンバーで夜間パトロールをしています。

パトロールでは、木や建物の陰など死角になる場所は、奥まで踏み込んで安全を確認するようにしています。

また、気になることがあれば、市民センターや警察、いきいきサポートセンター等の地域関係団体とも情報交換したり連携を図っています。

子どもや高齢者が犯罪に巻き込まれない安全で安心して住める長後の街にしていきたいと思っていますが、その為には住んでいる私たち一人ひとりが自分の街に関心を持つことが大事だと思っています。



(菊池会長)

セブン-イレブン

高齢の方々の来店は、ここ1、2年多くなっていると感じます。お会計の時に話をしていく方も多いため、できるだけ話を伺うようにしています。

杖や歩行器を使って買い物にくる方が、大通りを渡る姿を見かけた時や、何度も来店して同じ商品を買っていかれる方は特に心配になります。

そのような時は、店員から声を掛けています。また、家族と来店した時に状況を伝えたり、いきいきサポートセンターに繋ぐ事もあります。

これからも、地域の高齢の方々が話しやすい、明るい雰囲気を持って対応していきたいと思えます。



(今さん、近藤さん)